

第2回益田市立地適正化計画策定審議委員会 議事要旨

- 1 日時 令和4年8月5日(金) 14時00分～15時45分
- 2 会場 益田市立市民学習センター 多目的ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員：11名
 - (2) 事務局：6名(市：4名、(株)エブリプラン：2名)

委員	事務局
1. 益田市都市計画マスタープランの見直し方針について	
・ノーマライゼーション・バリアフリー的な思想も含めてほしい。	・資料へ反映させる。
・「にぎわい」もキーワードとして随所に入れてほしい。	
・キーワードに「まちづくり」がでてきてもよいのではないか。	
・全国各地で想定外の水害が起きており、防災的なことをしっかり考える必要がある。安全安心を目指す計画にしてほしい。	
・前回の都市マスタービジョンの景観も大切なキーワードなので、そのまま盛り込んでほしい。	
2. 益田市の抱える課題について	
・1番の課題は、空き地・空き家の増加ではないか。空き家の管理のためには、強制執行も含めた法律や条例の整備を進めていただきたい。	
・交通弱者が増加している。「ドア to ドア」で輸送できるような仕組みを地域自治組織主体で取り組む必要がある。	
3. 立地適正化計画の区域について	
・本計画で設定する区域は、現時点を想定して策定するのか10年、15年後を想定してするのか。今後人口減少が加速する中で施設等の	・将来的な人口の見通しなどを加味して、区域を設定している。 ・このまま人口が減り続けると、病院や商業

<p>撤退や学校の閉校などは、考慮されているのか。</p>	<p>施設が撤退することも考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画に基づく取組を通して、病院や商業施設を区域内に誘導し、ある程度の人口密度を維持することで、現在のサービスを 10 年後も変わらず享受することを目指している。
<ul style="list-style-type: none"> ・区域の設定にあたっては、河川や鉄道等の遮断要因を考慮する必要がある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高津川と益田川には含まれた区域を居住誘導区域に設定することには、疑問が残る。 ・かもしがエリアに入っている点を市民の方へ説明するには、根拠が必要。 ・安心安全を目指すためにはデータが必要。 ・データも必要だが、この区域を居住誘導区域に設定するメリットデメリットをきちんと市民へ示すことも必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メリット、デメリットを整理した資料を作成し、次回のところでお示しできるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・益田市は、高津川と益田川の洪水と氾濫で土砂が堆積して、出来上がった町である。災害リスクを減らすには、山に近づくことが有効だと思われる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・益田市は、二つの河川が市内を通過しており、災害のリスクが大きい。区域設定に関しては、安全安心を大前提として検討を進めてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能誘導区域に、誘導するにあたって税制的な優遇等を設けられるのか。また、今のゾーニング案で高津が外れている理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税制優遇といったことも施策としてでき、どういった施策ができるか今後検討してまいりたい。 ・現在の案の根拠としては、まずは公共交通で、益田駅を中心とした鉄道、バス、タクシーといった公共交通の中心であり、アクセスしやすい点。また、行政施設、医療、文化施設、商業施設といったある程度、様々な施設がこの部分に集約されているということでこのエリア案としている。高津

	<p>については、商業が非常に発展しているが、大きな行政施設や様々な分野の施設は集約されていないことと交通結節点でないことから、今のエリアを案としている。</p>
<p>・全国的には首都圏の一極集中に見られるが、災害等の面もあり、リスク分散も課題となっている。市においても市役所や病院が集約されると機能的ではあるが、一極集中は利便性が良い反面、危険性が高まるため、個人的には分散型が良い。</p>	
<p>・単純に居住誘導区域について、高津川と益田川に挟まれた地域に誘導するのはどうかと思ってしまう。</p>	
<p>4. その他</p>	
<p>・次回は、議論の際にテーブルの上に益田市の地図を置いてビジュアル的に地域の映像等を見ながら、議論をできるようにしたい。</p>	<p>・次回のところでは、資料を視覚的にわかるようにすることにも留意したい。</p>